



人に優しい施設の整備も大事なことです
(図書館としても利用されている中央コミセン)



佐藤忠暉議員

施設整備

中央コミセンに洋式便器を

現状のまま利用してほしい

質問 中央コミセンは図書館にも活用され、近い将来正式に図書館としての改修事業を行うという。

現在足腰が不自由な人、いわば和式便器を使用するのに難儀をきたしている人々から「なんとか楽に用がたせるよう、腰かけ便器にしてほしい」との苦情があり、一日でも早く改修工

事をすることを望むがどうか。

その場合の洋式便器は、暖房便座付きシャワートイレが望ましいと考える。

松尾教育長 昨年の十二月議会で答弁したとおり、引き続き現状のまま利用していたでくことで理解願いたい。

質問 中央コミセンの一

町の考えを聞く

階男子トイレのうち、二カ月程前から一カ所の大便器が使用不能になっている。清掃をする人に聞いたら、

半年以上も使用できない状態であるとのことだが、すぐ直すべきではないか。

阿部中央公民館長 原因を究明してよく調べ、確認してから対応したい。それまでは一階の別の大便器か二階のトイレを利用するか、中央公民館のトイレを利用してほしい。

建設行政

急傾斜地の住宅移転に支援を

県が促進事業を立ち上げた

質問 毎年おこる長雨や台風のたびに、危険区域と思われる場所に住む町民が、

公共施設に避難して一夜を過ごすことがあるが、町としては、このような町民に対してどのような考えをもってらるか。

また、そのような危険区域に住む町民に対して、住宅移転をうながし、町として支援してはどうか。

さらに、そのような町民が安全、安心、やすらぎをキーワードに暮らせる環境

づくりを、町が積極的に行うべきと考えるがどうか。

沼崎町長 現在、本町では七区域が岩手県水防計画により急傾斜地崩壊危険区域として掲載されており、本年度は大沢地区を急傾斜地崩壊対策負担金事業として実施することとしている。

住宅移転の件だが、本年度から県がかけ崩れの危険がある住宅の移転を促進するため「かけ崩れ危険住宅移転促進事業」を立ち上げている。